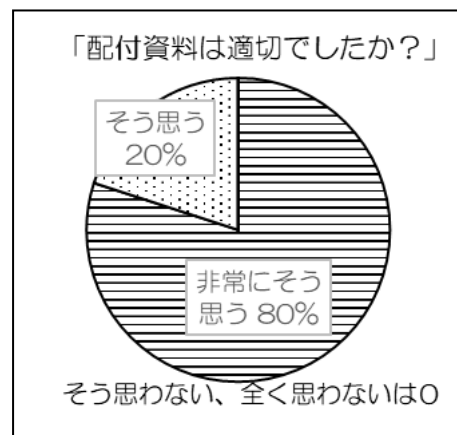
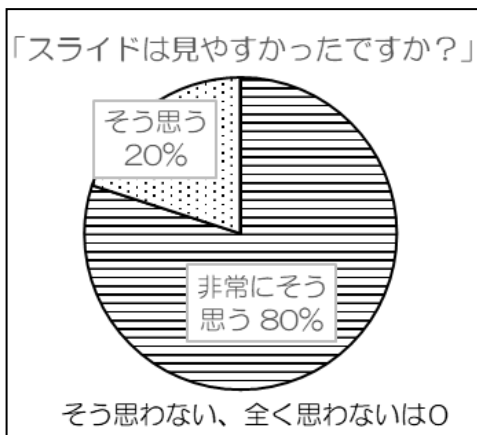
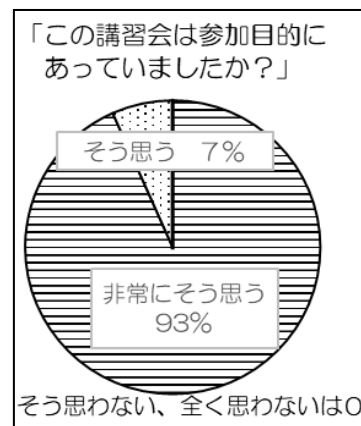
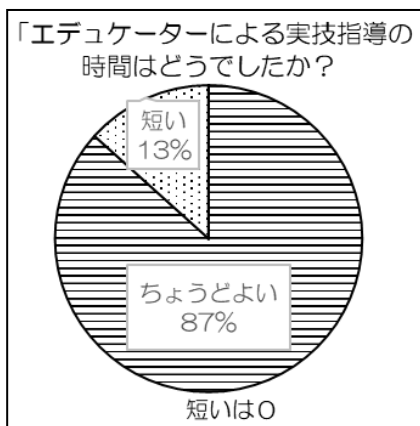
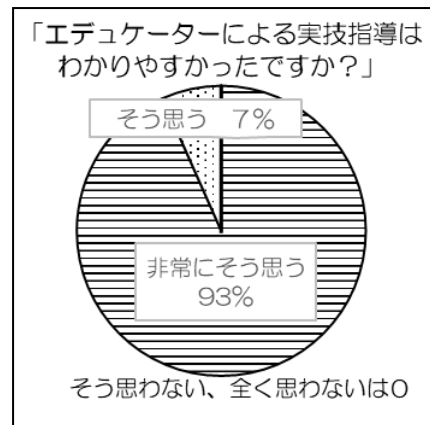
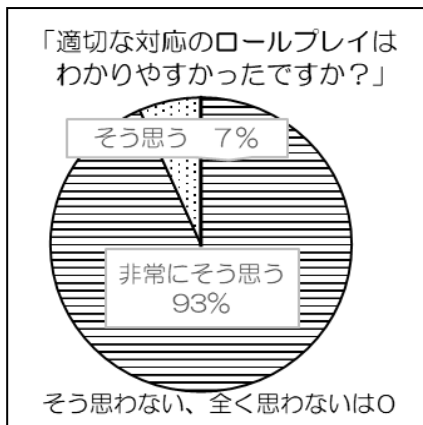
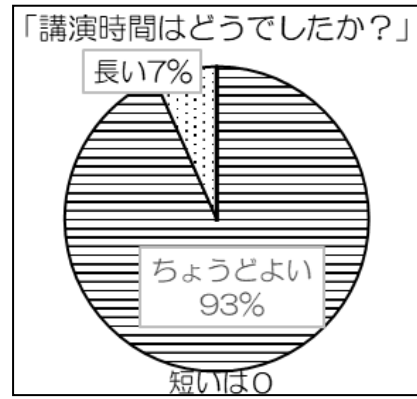
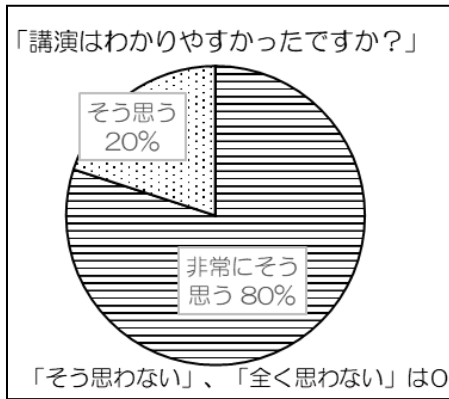


令和5年度公開講座 第13回「エピペン講習会」報告

先に実施しました公開講座「エピペン講習会」について、下記のとおり報告します。また、あわせて参加いただいた皆様、運営にご協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

- 1 日時 令和5年5月31日（水）14：00～16：30（受付13：30～）
- 2 場所 大阪府立羽曳野支援学校 体育館
- 3 対象 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教職員、救急救命士等
- 4 定員 70名
- 5 開催形態 大阪はびきの医療センターと大阪府立羽曳野支援学校との共催
- 6 内容
 - ・テーマ 「食物アレルギー～アナフィラキシーへの対応～」
 - ・講演 「食物アレルギー～アナフィラキシーへの対応～」
大阪はびきの医療センター小児科医師 釣永 雄希
 - ・動画視聴「適切に対応できなかった例」
 - ・釣永医師と教員による適切な対応（ロールプレイとポイント説明）
 - ・柏原羽曳野藤井寺消防本部救急救命士4名によるアドバイス
 - ・スモールグループ エピペン講習（8つのグループに別れ、大阪はびきの医療センターのエducーター8名から指導）
 - ・質疑応答
- 7 アンケート結果報告
 - ・本校以外から41名参加（アンケート回収：15名 回収率：37%）
 - ・参加者について
校種→幼稚園・保育園 22%、小学校 46%、中学校 24%、高等学校 3%、支援学校 5%
職種→養護教諭・助教諭 66%、教諭・講師・保育士 10%、栄養教諭 8%、その他 16%
 - ・事後アンケート集計





○まとめと課題

- どの質問内容でも肯定的な意見が多かった。しかし、アンケートの回収率が非常に低く、今後は講習会中にアンケートへの回答時間を設定し、回収率の向上を図る。
- 事後アンケートの記述式回答では、「講習会で新しく知った内容や参考になったこと」として、「アナフィラキシー時の対応についての実技指導」、「小児アレルギーエドキュケーターの存在と活動内容」、「実物のエピペンを使用した打ち方の練習」、「学校生活管理指導表の見方」など、医療側から得られる内容が多く挙げられた。病気の子どもの教育では、学校教育をおこなう上での医療的な知識や配慮は不可欠であり、この講習会で得たことが、病気の子どもたちへのよりよい教育につながると考えられる。
- 申し込み時にきいた医師への質問の内容が講演や実技指導に盛り込まれており、充実した研修を実施することができた。